



ごあいさつ

委員長 高見 佳澄

山形県PTA連合会母親委員会の活動に、ご理解ご協力いただきまして、ありがとうございます。各郡・市PTAの母親委員会におかれましては、コロナ禍において、感染防止に努めながらできる限りの活動をしていただきありがとうございます。

県Pの母親委員会においては第1回・第3回の委員会は開催、第2回・第4回の委員会は書面会議と、コロナの感染状況を見極めながらの開催となりました。「いのちの尊さ 大切さ」のテーマのもと、各郡・市の代表の方々と子どもたちの様子や、各郡・市Pの母親委員会の活動について情報交換を行っています。“親学”視察研修の活動は、山形市P連の母親委員と交流を図り、山形市PTA連合会と山形市PTA連合会母親委員会共催の「いのちの大切さ学習会」に参加し情報リテラシーについて学びました。ぜひ皆様にもご一読いただき、家庭でのインターネットにおける正しいルールや注意点をもう一度見直していただければ幸いです。

男女平等がさげばれ、「母親委員会は時代遅れ」「母親委員会なんていららないのでは？」とのご意見を毎年のようにいただきます。しかし、山形県は多くのお父さん方がPTA会長として活躍して下さる県です。そのため、母親委員会は、子どもにとって一番身近な存在である「お母さんの想い」を聞くことができる大切な場と捉え、母親同士のネットワークの素晴らしさや母親としての細やかな心づかいなどの利点を生かし、父親のみならず子育てに関わる方々と「子どもたちの為に何ができるのか」「お母さんだから・女性だからこそ気付き発信できること」を共に考え、活動につなげていきたいと思えます。

どんなに時代が変わろうとも、子どもに必要なのは、私たちの無償の愛とスキンシップということに変わりはないと思えます。また、子どもたちの抱えている課題を解決するには、親同士がつながり、情報を共有することが重要ではないかと思えます。このような時だからこそ、子どもとの「かかわり」と親同士の「つながり」を大切にしながら、母親委員会は活動してまいりたいと思えます。

《山形市》

- ・テーマ「いのちの尊さ大切さ」
～かかわる喜びつながる心～
- ・定例母親委員会3回（5/11・6/21・2/15 書面会議）
- ・拡大母親委員会1回
研修：「いのちの大切さ学習会」（県P親学補助事業利用）
講師：小木曾 健 氏（情報リテラシー専門家）
- ・“親学”家庭教育視察研修（山形市青少年指導センター視察）
- ・母親委員会だより「マザーズねっとわーく」No.26 発行

《西置賜地区》

- ・地区母親委員会（中止）
- ・地区PTA研修会への参加

《天童・東村山地区》

- ・母親委員会総会（中止）
- ・母の集い（中止）
- ・「母親委員会だより」発行

《上山市》

- ・母親委員会1回（中止）
- ・保護者研修会上山市の教育講演会と同時開催

《米沢市》

- ・定例母親委員会2回（書面・2月）
- *活動報告・情報交換等



【令和3年度 母親委員会】

各地区の活動報告



《酒田飽海》

- ・母親委員会（情報交換・講演会）
講演：「夢の現実に向けて」
講師：伊藤豊継 氏（ダンス講師兼振付師）
- ・酒田飽海P研修大会への協力

《最上地区》

- ・地区母親委員会1回（講演会）
研修：「現代の子育て、親育ち」
講師：寒河江亜衣子 氏（公認心理師・臨床心理士）
- ・代表母親委員会2回
- ・母親委員会だより「かあちゃんホットライン」発行

《北村山》

- ・村山市P：委員会/読み聞かせ/おたより発行
- ・尾花沢市P：委員会/おたより発行
- ・大石田町P：母親交流会/「母親伝言板」発行
- ・東根市P：組織なし

《鶴岡市》

- ・鶴岡市P連研修大会への参加（正副委員長のみ参加）
- ・市教育委員会との教育懇談会（中止）

《西村山》

- ・委員会（書面会議）
- ・代表委員会（書面会議）

《東置賜地区》

- ・地区Pでは組織化されず活動なし（単位P3校での組織・活動あり）

《東田川郡》

- ・定例母親委員会
- *活動報告
- *情報交換等



「いのちの大切さ学習会」

令和3年10月31日(日)

演題：「正しく怖がるインターネット・事例に学ぶ情報リテラシー」

講師：小木曾 健 氏（情報リテラシー専門家）



GIGA スクール構想が急加速し、子どもたちは自宅学習や遊びまで端末を活用することになりました。インターネットは生活に不可欠である一方、使い方を間違えると様々なトラブルにつながるリスクも秘めています。インターネットを安全かつ楽しく利用するための、正しいルールや注意点について研修しました。

視察研修「いのちの大切さ学習会」 …感想…

現代の生活において、インターネットを切り離して生活することは困難な世の中になっています。そんな世の中を生きていくこれからの私たちにとって大切な内容の講話をしていただきました。

スマホや SNS は手元で簡単に投稿ができるので近況や面白い事を気軽に書いてしまい炎上に繋がってしまうケースが多くあります。「一人、二人、百万人超」と、あっという間に広がり犯人捜しが始まる…と。様々な失敗事例を紹介され、とても怖く感じました。一方で、インターネットは便利な道具でもあります。正しく使えばとても有効なものです。東日本大震災で建物に取り残されていた保育園児や職員が何百人も SNS のおかげで助かった事例も紹介していただきました。

『インターネットは玄関の外側?!』

- 自宅玄関に貼れるものはネット上に上げててもトラブルはおきない。
- 自宅玄関に貼れないものはネット上にあげてはいけない。



ネットに情報を掲載するのは玄関のドアにベタベタものを貼っていく作業と同じだそうです。ネットへの掲載を迷った時は、自分の玄関に貼れるかどうか、で判断すれば間違えることはないと教えて頂きました。

友達限定であろうが、ネット上でばれないことはありません。ネットに自由はない、ネットと日常生活は別物ではありません。繋がっているのです。だからこそ日常の振る舞いが大切だといえます。

この便利なインターネットという道具をみんなが正しく使うことができるように心がけていく必要があると思いました。どんなリスクでどうやって回避すべきか、必要な知識を手に入れていきたいものです。

西村山P：福田慶子

視察研修「いのちの大切さ学習会」 …感想…

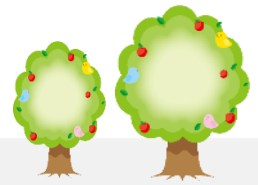
インターネットが普及してきて私たちの生活は随分便利になりました。学校でもタブレットを使った学習が始まり、子どもとインターネットとの付き合い方について考えなくてはいけない時期に、この学習会に参加させていただきました。

学習会では「玄関の表に貼れないことはネットにのせない」「ネットと現実是一緒である」「日常生活でやらないことはネットでもやらない」など、とても分かりやすく有意義なお話を聞くことができました。我が家では SNS を使う際には、自分や友達や周りの人を危険な目に合わせないように気を付けて使うように話していましたが、改めて子どもたちに学習会でお聞きした話をして、ネットとの付き合い方について犯罪やトラブルに巻き込まれないで楽しく便利にネットを活用できるように気を付けていくことなどを伝えました。

子どもだけでなく私たち親も、ネットを便利な道具として上手に使っていききたいと思いました。

西置賜地区P：大木かおり

各地区PTA母親委員会の活動の様子



・・・最上地区PTA協議会・・・

《最上地区PTA協議会母親委員会全員研修会 講演会》

演題 「現代の子育て、親育ち」

講師 寒河江亜衣子 氏(公認心理師・臨床心理士)

9月11日(土)「現代の子育て、親育ち」と題して講演をしていただきました。コロナ禍ということもあり、先生と会場をリモートで繋ぎ貴重なお話を伺いました。子どもの発達を、脳の発達から捉え直し、子育てを考えるというものでした。

特に私が印象に残ったのは、子どもはまだ前頭葉が未発達でネットなどの依存のリスクが高く、中高生になればなるほど親がゲーム・スマホなどを管理しなければいけないという点です。子どもが楽しいと感じている事の時間を自己管理することはまだ無理なので、親がきちんと主導権を握り一緒にルールを話し合う事が大事なのだと感じました。親や周りの大人が、子どもの脳の発達に合わせた接し方などが出来れば、今までよりももっとお互い良い関係を保てる気がしました。



最上地区P：斉藤佳子

・・・酒田飽海PTA連合会・・・

《酒田飽海PTA連合会母親委員会 講演会》

演題 「夢の現実に向けて」

講師 伊藤豊継 氏(ダンス講師・振付師)

7月1日(木)に、「夢の現実に向けて」をテーマに講演を行って頂きました。また講演の後にダンス教室も行って頂きました。前半の講演では、先生の実体験を元に、夢見ていた事を実際に仕事にするまでの苦労や、ダンスの講師の仕事を行うきっかけなどを話して頂きました。

講演の中で印象に残った言葉は、苦しい環境の中で本当に自分のやってみたい事が分かったという言葉でした。考え、行動する事で自分の道を切り開いた伊藤先生の言葉を、これから自分自身の道を切り開いていくであろう子どもたちに伝えたいと思います。



講演会の後半はダンス教室でした。ストレッチや簡単なステップを中心に教えて頂きました。出かける機会も少ない中、良い運動になりましたが日頃の運動不足を実感しました。

また、今年はPTA行事を行いにく中で、今回の講演会を無事に開催でき、良かったなと感じています。しかし、ダンス教室を、親子で参加できたらもっと楽しかっただろうと思うと、少し残念な気持ちにもなりました。状況が落ち着き、学校行事が例年通りに行われる事を待ち遠しく感じました。

酒田飽海P：金内由紀



・・・上山市PTA連合協議会・・・

《上山市PTA連合協議会 教育講演会》

演題 「家庭でして欲しい、いのちと性の話」

講師 井上聡子 氏(さとこ女性クリニック院長)

11月9日(火)、「家庭でして欲しい、いのちと性の話」と題して親子のかかわり方についてお話を伺いました。現状を知ること、そして、話題になっているLGBT、思春期や性行為について私たち親も子どもと話しづらい内容もありますが、「幼い子どものうちから嘘をつかず、はぐらかさないで答えること」「わからないことは一緒に調べること」「質問をしない子には適切な本をプレゼントすること」など、様々なかかわり方があるのだとお話してくださいました。

今回とても印象に残ったのが、思春期の頃女子は、食べて寝て体重や骨を貯金する大事な時期に、母の「やせたい」と放った何気ない言葉で子どものエストロゲンが減り影響が出る、ということです。話を聞きながら少しドキッとしました。また、「命」が大切だけど「あなた」がもっと大切、「世間」の考えではなく「お母さん」の考えを伝えることが大切だということです。一個人としての子どもを見てあげること、大人の言葉は子どもの心に響くこと、子どもたちの幸せな将来のために親自身が成長しなければならないと考えさせられました。

上山市P：木村佳子



母親委員研修 「やまがた法務少年支援センターの活動」



令和3年10月31日(日) 10:30

講師：内山博之 氏(山形少年鑑別支所 支所長)



法務少年支援センターの役割は「鑑別」「観護」「地域支援」とのことです。主に地域支援のお話をして下さいました。法務少年支援センターは、非行・犯罪に関する問題や思春期の子どもたちの行動理解などに関する知識ノウハウを活用し、以下の支援を行っています。

◎問題行動などで困っている人(本人・保護者)の相談

(例) 子どもが友達とトラブルを起こし困っている。すぐキレて暴言・暴力をふるって困る。
…専門的知識をお持ちの職員の方と話し、保護者に対し今後の子どもとの接し方など助言をしたり、子ども本人にカウンセリングを行ったり対応している。

◎先生方に対する児童生徒の問題行動に関する相談

…学校内でのトラブルが目立つ生徒への対応・適性検査など本人の特性に応じた指導方法の提案・助言。

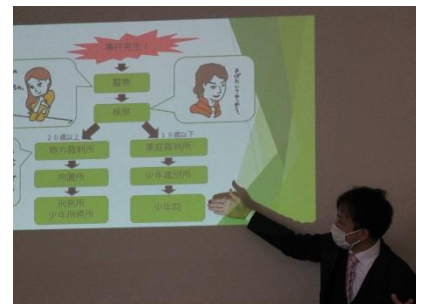
◎法教育授業、研修、講演など職員の派遣

…学校等からの依頼で「法教育」の出張授業を実施。



お話の中で、「子どもの話を聞くときは説教をまぜない。
“大した事じゃない!”と前置きして話すことは大事なこと。
問題行動には何か隠された意味がある。“困らせる行動をする子は何か困っている子だ”と理解してあげることが大事だ」とお聞きし、「ハッ!」とさせられました。

抱えきれない悩みや、どうしてもできないという状況に陥ってしまったとき、相談するのは勇気がいることです。子どものためにも親(自分)のためにも一歩を踏み出し、少しずつでも良い方向になるよう相談先の一つとして心にとめてもらえたらと思います。



天童・東村山P：西村貴美



あとがき

2021年度は、夏季オリパラ、冬季オリパラの双方が開催される稀有な年度となりました。コロナ禍で多くのチャレンジの機会を失った子どもたちに、オリパラを通して、「あきらめずに夢に向かって突き進んでいいんだよ」というメッセージが、そして希望の光が届くよう祈るばかりです。

私たち母親委員も、未来を信じ、子どもに寄り添い、夢に向かってともに歩み続けましょう。

西置賜地区P：遠藤 愛

編集委員

山形市：高見佳澄/西置賜：遠藤 愛
天童・東村山：西村貴美/西村山：福田慶子
上山市：木村佳子

